

文化団体紹介

新十津川町文化協会に加盟する団体を紹介します。

今月号は詩吟を愛好する岳風会です。見学は自由で、会員募集をしています。

岳風会

団体概要

昭和11年に「近代吟詠の祖」とされる木村岳風が日本詩吟学院を創立しました。それまでも詩吟はありましたが、岳風が全国各地の詩吟を研究し、体系立った詩吟にまとめたことで「近代吟詠の祖」として呼ばれています。

この日本詩吟学院で学んだ故・続木朝一氏が、昭和36年に新十津川に支部(岳風会)を開設しました。

〈活動の詳細〉

	みどり教場	菊水教場
活動場所	みどり区会館	菊水区会館
活動日時	毎週木曜日 9:30~11:30	第1・3水曜日 13:00~16:00
会員数	6人	5人
月会費	1,300円	1,000円

一時は近隣市町も含めて約220人の会員が在籍し、教場も各地に開設されるなどの隆盛を誇りましたが、現在は町内の2教場(みどり教場、菊水教場)のみとなり、会員数が10人程度まで減少しています。

※詩吟について 漢詩や和歌、俳句などを独自の節を付けて声に出して歌うこと。

年会費 6000円(年次登録料)

部会長 井上留治

活動内容

- ・春秋の昇級や昇段審査に向けての定期練習
- ・町民文化祭への参加
- ・北海道地区吟道大会への参加

会員から一言

- ・大きな声で発声するので、肺活量が増えて健康に良いです。
- ・大きな声を出すことで、ストレス発散になります。
- ・漢詩、和歌や俳句などを学ぶことになるので、教養を深めることになります。
- ・みんなで学び、教え合い、いろいろなお話をして交流を楽しんでいます。
- ・10月29日の町民文化祭に出場します。ぜひご鑑賞ください。

